

## ずいそう

## 晴耕雨読

土山正己



平成11年に、勤めが第一ステージから第二ステージに移行してから約6年が経ちました。現在、有料道路に設置されている料金収受機械のメンテナンス会社に勤めております。ETCも取り入れられており、ハイテクを駆使した機械ですが、これら料金収受機械も付き合ってみると、非常に奥の深いものがあります。例えば、高速道路で料金を支払った時に受け取る領収書ですが、よく見てください、領収書の上側と下側の左から5mmの所に1mmだけ引き千切った後が見られます。これは、収受員が、お客さんに領収書を渡すとき、風が吹いても飛ばされない様に、一箇所だけ切らずに残してあるからです。また、通行車両のナンバープレートもテレビ画像から瞬時に読み取り、車の縦横高さ、車軸の数やトレッドを計測し、料金所ブースを通過する時には、正確に車種判定が出来るようになっております。ETC装置は、最新技術の塊ですが、当初はトラブルも発生しました、トラブルの原因は、雀、鳩、蛾によるものや、風でゴミがくっ付いたり、予想外のものばかりでありました。ようやくそれらを解決し、安定期に入ったところです。このように、勤めの方はいろいろあって、それなりに過ごしております。

近年、老人人口が増えている為か、我が家の周りでは、家庭菜園や貸し農園が大盛況の様です。私も、家の庭に、一坪程の家庭菜園と畳一枚ほどの花壇を作っていました、5年ほど前に、嘗ての上司であり、地元の大地主でもある先輩から、約60坪の畑を4人で借りて、一人15坪づつ耕しています。我が家からは、車で10分ばかりの所です。当時小学校5年生の一番下の息子と一緒に始めました。現在、中学三年生です。ウィークデイは、二人とも、勤めや学校があり、土曜日か日曜日のいずれか1日しか行けません(二日行くと、翌週に疲れが残るため)。息子も最初のうちは、おやつで釣ったり、強制的に連れ出したりしていましたが、最近、畑仕事の楽しさを覚えたのか、自主的に付いて来るようになりました。先日も、学校の行事で畑に来れない様子であったので、一人で玉葱を収穫したあとの畑の手入れをしていると、30分余りかけ

て、自転車でやって来ました。満更畑仕事がいやではないようです。

畑の作物は、春は、玉葱、ジャガイモ、えんどう豆、スナックえんどう、夏は、ナス、トマト、かぼちゃ、しし唐、ピーマン、とうもろこし、すいか 秋は、ナス、かぶ 冬は、水菜、ねぎ、大根等、畝は五畝在るので、結構いろんなものが採れます。畑仕事をしていて特に感じたことは、畑は本当に自然がいっぱいであると言うことを実感しています。蟻、蜘蛛、団子虫、ナメクジ、けら、根きり虫、ハサミムシ、カメムシ、天道虫、アブラムシ、蟻螂、バッタ、アオムシ、ミミズと沢山の虫がいます。鳥も、すずめ、からす、椋鳥、鳩、山鳩、ジョウビタキ、ヒヨドリ、目白、セキレイ等がやって来ます。畑仕事をやっている、正に資源のリサイクルです。肥料には、油粕、醗酵牛糞、醗酵鶏糞や、草むしりした草をたい肥として、使用しています。作物の出来は悪くてもいいから、無農薬で化成肥料を使わないようにしていますが、青虫の駆除には、手を焼いています。よく「無農薬ですから虫が食べます」と言う人がいますが、無農薬でもきちんと手入れをすれば、虫食いは防げます。でも大変な努力がいります。5mmほどの青虫を見逃すと1週間で2~3cmに成長しています。近所のお百姓さんと話をしていたら、「お米は工業製品と違い一生の内、お米を収穫する回数は、精々60回位ですよ。だから米づくりは難しい」と言っておられました、自分で野菜作りをしてみて、成る程と納得いたしました。

雨の日は、読書と行くのが、晴耕雨読ですが、現在は専ら雨の日は、近所の碁会所で烏鷺うろとへば碁を楽しんでいます。こちらも老人パワー全開です。60歳そこそこでは、若造です。77歳で碁会所に皆出席の人もおられます。いずれ第二ステージから第三ステージに入れば畑仕事と囲碁そして頭がボケないように時々なんかの資格を取って、人並みにボランティアに参加して行きたい、と思う今日この頃です。